



Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラへのコネクタの接続

- [Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ への コネクタ の接続 \(1 ページ\)](#)

Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ への コネクタ の接続

始める前に

- コネクタ OVA を展開し、Cisco DNA Spaces のトークンを使用してアクティブにします。
- Cisco DNA Spaces : コネクタ から到達可能な Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の IP アドレス。
- Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ CLIで、コンフィギュレーション モードを開始し、**aaa authorization exec default local** コマンドと **aaa authentication login default local** コマンドを使用して、ローカル認証で AAA を有効にします。

IoT サービス を実行する Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ CLIで イネーブルモードを開始し、次のコマンドを実行します。

```
show run | sec aaa
```

表示された出力に含まれる **aaa authorization exec default** の設定を保存します。設定モードを開始して、ローカル認証の設定を既存の設定に追加します。

たとえば、表示された出力が **aaa authorization exec default group dnac-network-tacacs-group** の場合、追加する設定は **aaa authorization exec default group dnac-network-tacacs-group local** です。この手順により、既存の設定が上書きされないようにすることができます。

手順の概要

1. Cisco DNA Spaces にログインします。
2. Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Setup] > [Wireless Networks] の順に選択します。
3. ステップのリストを表示するには、それぞれのドロップダウン矢印を使用して、[Connector via Spaces Connector] エリアを展開します。
4. コネクタ から既存の コントローラ への接続をテストするには、[Step 3] エリアの [View Controllers] をクリックします。
5. 新しい コントローラ を追加するには、[Step 3] エリアの [Add Controllers] をクリックします。
6. [Connector] ドロップダウンリストから、コネクタ を選択します。
7. [Controller IP] アドレスと [Controller Name] を入力し、[Controller Type] ドロップダウンリストから [Catalyst WLC] を選択して Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ に接続します。
8. 次のいずれかを実行します。
 - [Netconf username]、[Netconf password]、および [Enable password] を入力します。この選択により、コネクタがNMSPドロップから正常に回復し、必要に応じて新しい設定を コントローラ にプッシュできるようになります。Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラでイネーブルパスワードをまだ設定していない場合は、この手順での [Enable password] の設定をスキップできます。
 - [Catalyst WLC CLI commands] セクションの設定コマンドをコピーし、コントローラ コマンドラインインターフェイスで手動で実行します。
9. (任意) PING 機能と SSH 機能を実行して到達可能性とクレデンシャルをテストしてから、[Test Connectivity] をクリックします。[Test Connectivity] は、アクティブな コネクタ に対してのみ使用できます。
10. [Save] をクリックし、[Close] をクリックします。

手順の詳細

-
- ステップ 1** Cisco DNA Spaces にログインします。
- ステップ 2** Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Setup] > [Wireless Networks] の順に選択します。
- ステップ 3** ステップのリストを表示するには、それぞれのドロップダウン矢印を使用して、[Connector via Spaces Connector] エリアを展開します。
- ステップ 4** コネクタ から既存の コントローラ への接続をテストするには、[Step 3] エリアの [View Controllers] をクリックします。
- a) コントローラ を編集するには、鉛筆アイコンをクリックします。
 - b) [Connector] ドロップダウンリストからアクティブな コネクタ を選択して、[Test Connectivity] ボタンを有効にします。
 - c) ステップ 8 に進みます。
- ステップ 5** 新しい コントローラ を追加するには、[Step 3] エリアの [Add Controllers] をクリックします。

Spaces Connector is an easy way to get your wireless network connected to Cisco DNA Spaces. No need to upgrade Wireless LAN Controller!

- 1 Install Spaces Connector OVA**
 Download and install Spaces Connector OVA as a virtual machine.
[Download Spaces Connector](#)
- 2 Configure Spaces Connector**
 You will need a token to configure Spaces Connector. You need to connect to <https://<your connector IP>/> from a browser to configure the token. You can optionally configure Spaces Connector to connect via HTTPS proxy.

0 / 46 connector(s) active

[Create a new token](#)
[View Connectors](#)
- 3 Add Controllers**
 Add and associate controllers to your Cisco DNA Spaces Connector(s)

0 / 14 controller(s) active

[Add Controllers](#)
[View Controllers](#)
- 4 Import Controllers into Location Hierarchy**
 Once the controllers are added, you can import them into your location hierarchy. You can only import controllers with at least one access point.

0 / 14 controller(s) imported to location hierarchy

[Import Controllers](#)
[View Location Hierarchy](#)

ステップ 6 [Connector] ドロップダウンリストから、コネクタ を選択します。

ステップ 7 [Controller IP] アドレスと [Controller Name] を入力し、[Controller Type] ドロップダウンリストから [Catalyst WLC] を選択して Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ に接続します。

ステップ 8 次のいずれかを実行します。

- [Netconf username]、[Netconf password]、および [Enable password] を入力します。この選択により、コネクタがNMSP ドロップから正常に回復し、必要に応じて新しい設定をコントローラにプッシュできるようになります。Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ で **イネーブル** パスワードをまだ設定していない場合は、この手順での [Enable password] の設定をスキップできます。
- [Catalyst WLC CLI commands] セクションの設定コマンドをコピーし、コントローラ コマンドライン インターフェイスで手動で実行します。

ステップ 9 (任意) PING 機能と SSH 機能を実行して到達可能性とクレデンシャルをテストしてから、[Test Connectivity] をクリックします。[Test Connectivity] は、アクティブな コネクタ に対してのみ使用できません。

図 1: Catalyst WLC コントローラの追加

Add Controller

Controller Name
■

Controller Type
Catalyst WLC / Catalyst 9800 ^

Netconf Username
■■■

Netconf Password
..... [SHOW](#)

Enable Password
..... [SHOW](#)

Catalyst WLC CLI Commands

```

aaa new-model
username dca9048dd2f8 mac aaa attribute list cmx_dca9048dd2f8
aaa attribute list cmx_dca9048dd2f8
attribute type password
7e634b76188bf588d9a0922635d8bfd5eb882b5c159df64984bc4579ab8b8c
aaa authorization credential-download wcm_loc_serv_cert local

```

[Test Connectivity](#) Connectivity test is successful

[Save & Close](#) [Save & Add Next Controller](#)

表 1: エラーの説明

PING のステータス	SSH クレデンシャルテストのステータス	表示されるテスト接続メッセージ
SUCCESSFUL	SUCCESSFUL	接続テストに成功しました

PING のステータス	SSH クレデンシャルテストのステータス	表示されるテスト接続メッセージ
SUCCESSFUL	FAILED	<p>コントローラに対する PING テストに成功しました。しかしながら、SSH テストには失敗しました。次の点をチェックします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コントローラで SSH が有効になっていますか。 2. コントローラの SSH ポート 22 はコネクタから到達可能ですか。 3. 正しい SSH 読み取り/書き込みクレデンシャルを入力しましたか。
FAILED	SUCCESSFUL	接続テストに成功しました
FAILED	FAILED	<p>コントローラに対する PING テストと SSH テストの両方に失敗しました。次の点をチェックします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コネクタとドメインコントローラの間で IP 接続が確立されていますか。 2. コントローラで SSH が有効になっていますか。 3. コントローラの SSH ポート 22 はコネクタから到達可能ですか。 4. 正しい SSH クレデンシャルを入力しましたか。 5. AAA はローカル認証で有効になっていますか。 6. NMSP および SSH 接続用のワイヤレス管理インターフェイスではないインターフェイスを使用していますか。

ステップ 10 [Save] をクリックし、[Close] をクリックします。

コネクタ Web UIの [Controller Channel] 領域に新しい コントローラ が表示されます。コネクタに正常に接続された コントローラ がアクティブとして表示されます。コントローラが [Active] になるまでに約 5 分かかります。ウィンドウを更新して、ステータスの変更を表示します。

追加された コントローラ は、コネクタ の [Controller Channel] エリアにも表示されます。

Controller Channel			
TDL Incoming Msg Rate	0.00 events/second		
TDL Incoming Msg Count	281		
IP Address ↕	Connected At ↕	Msg Rate/Second ↕	Status ↕
172.20.239.41	Wed, Jul 29th, 2020	29	ACTIVE

1 つの コネクタ に複数の コントローラ を追加できます。

次のタスク

Cisco DNA Spaces ロケーション階層に追加された コントローラ をインポートできます。